

科目ナンバリング		U-LAS21 20001 SO48									
授業科目名 <英訳>		ドイツ語II A D2110 Intermediate German A				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 井尻 楽			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	木2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
本授業では、ドイツの高校向けに書かれた美術史（特に絵画史）のテキストおよびドイツの美術館のミュージアムガイドに掲載されたテキストを用いて、ルネサンス以降の美術様式、時代背景、代表的な画家の紹介および作品解説を精読してゆきます。 一年次に習得した基礎文法を復習しつつ、ドイツ語を話す人々の文化や思考法を、ヨーロッパ美術史の中で比較対照させながら学ぶ授業です。											
[到達目標]											
辞書を用いて、やや難解な形容豊かな解説文を読みこなせるようになること。 また、美術用語に慣れ親しみ、洋の東西を問わず、芸術、歴史、文化への関心を高め、広い視座から物事を考えられるようになること。											
[授業計画と内容]											
この授業では、ドイツの高校卒業試験（Abitur）の美術史の対策本から美術様式および時代背景を、ドイツの美術館（Alte Nationalgalerie Berlin, Alte Pinakothek Muenchenほか）のミュージアムガイドから主として作家と作品解説のテキストを選び、精読します。事前にテキストの逐語訳をPandAに提出し、授業内で確認しながら進めていく予定です。取り扱う美術様式は以下のとおりです。（変更の可能性あり） 1. オリエンテーション（授業の進め方、テキスト配布） 2-5. Renaissance（テキスト精読、読解のポイント、様式、作家、作品の解説） 6-10. Barock（テキスト精読、読解のポイント、様式、作家、作品の解説） 11. Rokoko（テキスト精読、読解のポイント、様式、作家、作品の解説） 12-14. Klassizismus（テキスト精読、読解のポイント、様式、作家、作品の解説） 定期試験とフィードバック											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
[成績評価の方法・観点]											
平常点（詳細は授業内で説明）70%、定期試験30%											
[教科書]											
プリントを配布します。											
----- ドイツ語II A D2110(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

ドイツ語ⅡA D2110(2)

[参考書等]

(参考書)

高階秀爾、三浦篤 『西洋美術史ハンドブック』(新書館、1997年) ISBN:9784403250248

中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧 『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社、2021年) ISBN:9784560004920

[授業外学修(予習・復習)等]

辞書(オンラインを除く)を用いて、文構造を丁寧に押さえながらテキストの逐語訳に取り組み、事前にPandAに提出してください。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]